

AREC・Fiiプラザ 第159回リレー講演会

3Dプリンタ・プラスチック成形分野

■日時：平成26年8月21日（木） 15:00～18:00
※終了後（18:00～）交流会開催

■会場：信州大学繊維学部内 AREC（上田市産学官連携施設 4階）

講演 1

講師：株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズ AMビジネスユニット
営業部 事業戦略課 前田 寿彦 氏

15:00～16:00

【演題】レーザー焼結技術を用いたAMについて

【概要】3Dプリンティングによるものづくり、すなわちアディティブ・マニファクチャリング（AM）が新たな生産手段として注目を集めている。中でもレーザー焼結技術を使ったAMは材料の多様性や造形における制約の少なさから高機能部品やテーラーメイド部品の製造に適している。特に金属材料による造形は、鋳造や機械加工などの既存工法ではつくることができない複雑な形状や軽量化された部品の生産を可能にする。本稿ではこのレーザー焼結技術を用いたAMの最新の状況、課題、将来展望などを述べる。

講演 2

講師：株式会社 松浦機械製作所 営業本部 北関東営業所 主任 加藤 直人 氏

16:00～16:25

【演題】金属光造形複合加工機 LUMEX Avance-25 による活用と事例紹介

【概要】来年創業80周年を迎えるマシニングセンタの専門メーカーである松浦機械製作所が13年前から事業展開してきた、金属積層法と高速ミーリング加工をハイブリッドさせた金属光造形複合加工機”LUMEX Avance-25”についてご紹介申し上げます。3Dプリンタブームの昨今、非常に注目度の高い金属造形について、特に射出成型の金型に特化してその新しい設計方法の事例を交えてご紹介申し上げます。

休憩

講演 3

講師：トレソル 代表 藤岡 潤一 氏

16:35～17:05

【演題】3Dプリンタを使った造形事例

【概要】展示会やメディア等で3Dプリンタやその造形品を見る機会が多くなりましたが、造形物がこのように出来るという単に出来上がった物として見るのではなく、どんな目的でどのように使われるのか、自身の業務を通して身近な事例をご紹介いたします。3Dプリンタを活かすヒントになればと思います。

講演 4

講師：株式会社 ユウワ 代表取締役社長 渡辺 稔 氏

17:05～18:00

【演題】日本の製造業が考えること

【概要】ユウワグループのプラスチック成形工場と生産3拠点の日本、中国、ベトナムの核となる金型技術センターのご紹介をさせていただき、なぜ海外に出たのか、これからの海外に対する考え方はどうか、それを認識した上で日本の製造業はどうしていかなければならないかについて、ざっくばらんに話させていただけたらと思います。

主催：AREC・Fiiプラザ／一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター 共催：公益財団法人長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター

●お申し込み先 AREC・Fiiプラザ事務局 宛

電話（0268-21-4377） [メール \(mousikomi@arecplaza.jp\)](mailto:mousikomi@arecplaza.jp) FAX（0268-21-4382）

下記をFAXまたはメールでお送りください

AREC・Fiiプラザ 第159回リレー講演会 参加申込書		(平成26年8月21日)	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		

※ご記入いただいた個人情報（御社名、所属・役職、氏名）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません